

少し前になりますが、SNSで話題になっていた新聞の投稿にこんなものがありました。

埼玉の幼稚園職員(75歳女性)の投稿です。(読売新聞 2018年6月9日 朝刊「気流」)

交差点で信号待ちをしていると、ピカピカのランドセルを背負った女の子がやって来た。

「お帰りなさい。車に気を付けて、おうちに帰ってね」と声をかけると、突然、ランドセルに付けていた防犯ブザーが鳴り響いた。

逃げるように横断歩道を渡っていく、女の子の後ろ姿を見て、知らない人に声をかけられたら、ブザーを鳴らすようにと家の人から言われているのだろうと思った。どんなに怖い思いをさせてしまったことか。

顔見知りの卒園生だと、「はい、気をつけて帰ります」とニコニコと応答してくれるので、知らない子どもにも同じように声をかけてしまったのだ。やはり、おせっかひだったろうか。自分では親切なことをしたと思っても、かえって、迷惑なことがあるのだと痛感させられた。

こんな話題を耳にするたびに、思い出す歌があります。

シンガー・ソングライターの新沢としひこさん(私が以前、東京の保育園で働いていた時の園長先生の息子さんで、今も子どもの歌をたくさん作っていらっしゃいます。うちの園でも行事等でよく使わせてもらっています)が、つくった大人向けの歌で『そんなことじゃない』という歌です。

そんなことじゃない

作詞・作曲 新沢としひこ

近づく奴らを信用するな 何でも詐欺だと疑えばいい
 きれいな言葉にまどわされるな 心のドアには鍵をしろ
 気をつけろ 気をつけろ 賢くなれと言ってはみたが
 きみに伝えたいことは そんな さびしいことじゃない
 きみに伝えたいことは そんなことじゃない

まわりと同じにしておくもんだ 抵抗するのは 愚かな奴だ
 正直ばかりじゃ つぶされるんだ 泣きたくなければ ずるくなれ
 あきらめろ あきらめろ 小さな肩を たたいてみたが
 きみに伝えたいことは そんな 悲しいことじゃない
 きみに伝えたいことは そんなことじゃない

しょうがない しょうがない 震える肩を たたいてみたが
 きみに伝えたいことは そんな さびしいことじゃない
 きみに伝えたいことは そんなことじゃない
 きみに伝えたいことは そんな 悲しいことじゃない
 きみに伝えたいことは そんなことじゃない

いろんな場面で、「本当に大切なことは、こんなことじゃないんだ」とわかっていながら、それでも子どもたちに伝えなければならないことが年々増えてきているような気がして、虚しくなる時があります。子どもも大人も余計な心配をせず安心して過ごせるような、他人を信じられる温かい社会にしていきたいものですね。